

テキストの外側再訪 The Outside of Text: Revisit

森田 均*¹
Hitoshi MORITA

*¹ 長崎県立大学国際情報学部情報メディア学科
Department of Info-Media Studies, University of Nagasaki

This document describes again two dimensions of perspective for the elements of the literary text. A) Inside of text: traditional use of rhetoric. B) Outside of text: the background knowledge is used to construct the text and the real world. In addition, this thesis proposes the method of analyzing the TV program.

1. はじめに

事実を物語るテキストは、特定の事象の叙述から積み重ねによって生成されることがある。本論文では、ある事象についての膨大なデータが言説化されるプロセスをモデル化することによって事実とその言説化の表象としてのテキストについて考察する。この研究は、圧倒的な量の事実から文学テキストの生成へと迫ることができるのか、事実から現実が構築可能なのかという問いに応える試みの一部である。ここでは、悉皆調査によるデータを具体例として、コンセプトからモデル化へと至る途中経過を記す。

2. テキストをめぐる理論

筆者の研究は元来テキストを内側と外側の双方から検討するものであるが、後述するメディア論との関係もあって、ひとまず外側を優先させている。一方で[Ryan 09]は著者と登場人物によるプロットの葛藤を検討することからテキストの内側に新たな視点を提供しているのだが、本論文は表題からも明らかなように、昨年度講演[森田 08a]の続編と位置づけているので引き続き外側を扱うことにする。

2.1 用語としての「文学テキスト」

「文学テキスト」という言葉は[前田 93]によるものだが、[日高 95]では表題に用いられながら英文題名は単に “Japanese Literature” とされるなど概念は一定ではない。[林 09]では「誰かから誰かへと何らかの情報が伝えられ、それが人(びと)に大きな影響を与える様子を中心装置とする」と方向は示されながら本文では「文学的テキスト」と記されている。実は筆者もこの言葉の厳密な定義は行っていない[森田 07a]。

2.2 テキスト理論からメディア論へ

文学テキストがトポスからメディアへと展開されたように、文学研究がテキスト理論からメディア論へと横断する志向も既に示されている。一方でメディア論の中でも特に[McLuhan 62]は文学研究から出発したものであり、[Beckett 53]の一場面をPASCALで書き換えて見せた[Kenner 87]に受け継がれている。[伊藤 08]が表現にxml類似の手法を示したことには刮目しつつも、[Queneau 67]による実験には未だ充分な検証が行われていないと考えられ、本研究の射程も1960年代から現代と往還を含めて課題は山積している。

3. メディア論からのアプローチ

ここでは、筆者による実証的な研究の事例[森田 08b]を示す。地上波全チャンネルの番組を終日HDD上に蓄積させたデータを使用し、8月9日「原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」中継番組、10月7日「長崎くんち奉納踊り」中継番組そして11月23日「ペトロ岐部と187殉教者列福式」を分析対象とした。[森田 07c]がテレビ中継の歴史を過去の新聞によって把握した通時的な分析であったとすれば、本研究では録画した映像を根拠として、上記の3イベントに絞り込んで共時的な分析を行う。

3.1 長崎平和祈念式典の内容分析

内容分析のために、番組がどこまで式典を忠実に中継しているか数値によって比較した。数値化の手順は、以下の通り。まず、式次第に従って式典のシーンの総数を13と定める。式次第には12項目が掲載されているが、「来賓挨拶」が総理大臣と県知事によって行われていることから別項目とした。式典と各局の中継番組とで一致するシーン数を求める。番組のシーンは、式典に各局独自の音声又は映像が重複していないものを一致したと考える。各局番組のシーン総数は、放送開始・放送終了時刻から式次第に従って算定する。式典本来のシーン総数、一致数、各局番組のシーン総数から一致度を算出する。再現率は、各局番組が式典のシーンをいくつ中継しているかを示すものである。精度は、番組全体の中で式典を忠実に中継しているシーン数の割合である。F値は、両者を要約したもので0から1までの範囲で得られる数値で、1に近づくほど一致度が高い。

以上のような数値化を行った上で、表1では2007年8月9日に放送された番組を比較している。最も高いF値0.78を示したのは長崎放送(NBC)であった。この値は精度0.90から得られたものである。この年、長崎放送(NBC)の番組放送時間は5局中で最も短い50分であった。この時間的制約から再現率が0.69と低くなってしまったものと考えられる。一方で最も低いF値0.09を示したのは長崎国際放送(NIB)である。同局の番組放送時間は60分であるが、殆どのシーンで式典本来の音声にキャスターあるいはゲストによる発話が重なっている。これは、式典の内容を把握するにしても、ゲストの話に耳を傾けるにしても、どちらにせよ他方の発話又は音声が妨げとなる。

表2は、2008年の比較である。テレビ長崎(KTN)が前年よりも再現率を大幅に向上させてF値を0.80としている。同局は、前年に90分であった放送時間を50分と減少させているが、放送終了時間が15分遅くなったために式典後半の中継が可能となっている。また、2007年はキャスターとゲストの会話が空転し

連絡先: 森田均, 長崎県立大学国際情報学部情報メディア学科, 851-2195 長崎県西彼杵郡長与町まなび野 1-1-1, 095-813-5105(直通, Fax 兼用), morita@sun.ac.jp

て発話が式典シーンに重なることがあったが、2008年はこの問題を解決している。長崎放送(NBC)がF値首位の座を明け渡したのは、同局の番組が北京オリンピックに対応した全国ニュースのために一時中断となったことが大きく影響しているものと考えられる。一方で長崎国際放送(NIB)は、2年連続で最下位である。F値は0.35と相応に向上しているが、番組の進行は2007年と同じパターンであった。

表3は、式次第と番組内容の対応関係を示すものである。網掛けとなったセルは、式典本来の発話に番組独自の音声や映像が重なったシーンであることを示す。また各シーンで画面ワイプによる手話通訳の映像や字幕が併用された場合には明記した。共通する特徴は、以下の通り。まず、式典最後の「閉会」は全ての局が2年ともに中継していない。次に長崎市議会議長による「式辞」を完全に中継するのは長崎放送(NBC)のみである。一方で長崎市長による「平和宣言」は、全ての局が中継している。表3から明らかになるのは、式典終了時間の手前で番組の中継を終えてしまう局が多いということである。前述したように「閉会」は全局が中継していないので、完全中継は皆無であるが、10～15分前に終了するのが3局ある。さらにテレビ長崎(KTN)が手話対応の放送をしていることは、特筆に値する。2008年は、式典当日が土曜日となることによって長崎国際放送(NIB)を除き、4局が式典終了時刻以降に番組を終了している。表3からは、テレビ長崎(KTN)が手話に加えて字幕を多用するようになったことが明らかになる。表3で「○」印を付したのは、同一シーンのうち最も忠実に式典を中継したと考えられるものである。音声や映像が極力式典本来のものとなっていること、手話や字幕が用いられていることなどを判断基準とした。この「○」印を連結させることによってテレビ番組から最も忠実な式典の記録映像を得ることが可能となる。大半は長崎放送(NBC)とテレビ長崎(KTN)の番組から得るもので、終盤はNHKのシーンを用いる。なお2008年の式典では長崎文化放送(NCC)のシーンが一部必要となるが、これは長崎放送(NBC)が番組を中断したために「献花」の完全なシーンを放送できなかったためである。

以上の考察から、数値化による比較であってもシーンごとの内容もある程度反映されていることが明らかになった。

3.2 長崎くんち

長崎くんちに関しては内容分析に代わり、放送時間に関する検討を行った。2008年は、4局が長崎くんちの中継特別番組を放送した。これらに加えて、長崎国際放送(NIB)が全国放送番組の中で長崎市の諏訪神社からスポットで中継を行っている。

さて、表4には地上波全チャンネル同一コンテンツとなった瞬間を記している。前述したように番組は設定していなかったが長崎国際放送(NIB)はスポットで中継しているので、その中継時間に依拠して他局の放送状況を照合した。表中で網掛けをしたセルが諏訪神社からの映像を放送した時間である。各局中継番組放送時間内の白地のセルはCMである。生中継時間で唯一5局が一致したのは、7時27分46秒から始まる瞬間であった。この瞬間に、長崎国際放送(NIB)が約1分間の中継を行った。しかし、7時27分は最初の踊り手(一番町)である新橋町が奉納を終えた直後で、各局は一斉にCMに入り、NHKもゲストのアップなどを放送していた。CMへの移行が最も早かったのは長崎放送(NBC)で7時28分10秒であった。これまで記した時刻は全てソフトウェアによる表示に基づいており、実時間と誤差があると考えられる。結果としては、7時27分46秒から7時28分10秒まで長崎の地上波テレビが諏訪神社から同一のコンテンツを中継していたことになる。

表5は、同日夕刻のローカル・ニュースの時間帯をプロットしたものである。NHKはローカル・ニュースを放送している総合チャンネルに代わっている。夕方の時間帯は放送開始時刻が18時10分のHNK総合、同10分代後半の長崎放送(NBC)とテレビ長崎(KTN)、同20分代後半の長崎文化放送(NCC)と長崎国際放送(NIB)の3グループに分かれている。前3者は放送時間が重複するが、20分代スタートの2者とはどのようにしても重ならない。しかし、長崎文化放送(NCC)はローカルに先立ち九州ブロックのニュース番組があり、長崎国際放送(NIB)は録画による長崎くんち特別番組の放送があった。これによって、18時20分05秒から18時21分25秒まで素材は異なるが、夕刻にも再び同一コンテンツとなる瞬間があった。表4は、番組表と録画データの検証を相互に行った成果を示したものである。

長崎平和祈念式典と長崎くんちは同じスタッフによって中継されることが多い。くんちで有効な発話も平和祈念式典では逆効果となる。内容分析によってこうした差異を明示できるようにすることが今後の課題である。

3.3 列福式

2008年11月23日に長崎市において禁教時代の殉教者を聖人に次ぐ福者に叙するカトリックの列福式が行われた。ローマ教皇使節が列席する日本初の儀式であることから実況中継とローカル及び全国放送のニュース番組の分析を行い表6にまとめた。このイベントの場合は、同時中継がテレビ放送ではなくインターネットの動画配信によって行われた。ネット配信は、CMによる中断がなくなるなど番組制作上の制限が緩和され、到達範囲が圧倒的に広がる。一方で、国民の休日にあたるためにテレビ放送番組の編成フォーマットが通常とは異なっていることも要因と考えられるが、ローカルでは夕方のニュースで全局が取り上げたものの、全国ニュースでは2局のみであった。

4. まとめと展望

2章で示した理論的な課題から3章に記した実証的な研究を踏まえてモデル化へと至る手法は、[森田 07b]で検討を行っている。この手法は、修正を経て今春から科研費(平成21～23年度 挑戦的萌芽研究)の採択課題として継承される予定である。付記:本論文は、平成19～21年度日本学術振興会科学研究費(萌芽研究)補助金(課題番号:19653046)による研究成果の一部である。

参考文献

- [Beckett 53] Beckett, S.: Watt, Grove Press, 1953. (高橋康也・訳、『ワット』, 白水社, 1971)
- [林 09] 林文代: 文学テキストとメディア, 英米小説の読み方・楽しみ方, 岩波書店, 2009.
- [日高 95] 日高昭二: 文学テキストの領分, 白地社, 1995.
- [伊藤 08] 伊藤計劃: ハーモニー, 早川書房, 2008.
- [Kenner 87] Kenner, H.: Mechanic Muse, Oxford University Press, 1987. (松本朗・訳、『機械という名の詩神』, 上智大学出版, 2009)
- [前田 93] 前田愛: 文学テキスト入門, ちくま学芸文庫, 1993.
- [McLuhan 62] McLuhan, H. M.: The Gutenberg Galaxy, University of Toronto Press, 1962. (森常治・訳、『グーテンベルクの銀河系』, みすず書房, 1986)
- [森田 07a] 森田均: 文学テキストのハイパーテキスト変換, 雄松堂, 2007.
- [森田 07b] 森田均: 生成のための修辞, 認知科学第14巻第4号, 日本認知科学会, 2007.

- [森田 07c] 森田均: テレビ番組としての平和式典と長崎くんち, 国際情報学部紀要第 8 号, 県立長崎シーボルト大学, 2007.
- [森田 08a] 森田均: テキストの外側, 人工知能学会全国大会(第 22 回)論文集 CD-ROM, 2008.
- [森田 08b] 森田均: 平和式典と長崎くんち — テレビ番組分析手法の提案 —, 国際情報学部研究紀要第 9 号, 長崎県立大学, 2008.
- [Queneau 67] Queneau, R.: Un conte à votre façon, Les Lettres Nouvelles, 1967. (塩塚秀一郎・訳, 『あなたまかせのお話』, 国書刊行会, 2008)
- [Ryan 09] Ryan, M.-L.: Cheap Plot Tricks, Plot Holes, and Narrative Design, Narrative Vol. 17 No. 1, 2009.

表 1: 番組と式典の一致度 2007 年 8 月 9 日(木)

	NHK	NBC	KTN	NCC	NIB
シーン数	12	10	9	9	10
式典との一致	8	9	6	7	1
F measure	0.64	0.78	0.55	0.64	0.09
R(再現率)	0.62	0.69	0.46	0.54	0.08
P(精度)	0.67	0.90	0.67	0.78	0.10

表 2: 番組と式典の一致度 2008 年 8 月 9 日(土)

	NHK	NBC	KTN	NCC	NIB
シーン数	12	12	12	9	10
式典との一致	9	9	10	7	4
F measure	0.72	0.72	0.80	0.64	0.35
R(再現率)	0.69	0.69	0.77	0.54	0.31
P(精度)	0.75	0.75	0.83	0.78	0.40

表 3: 各局の中継状況と式典の再現可能性

	2007 年 8 月 9 日					2008 年 8 月 9 日				
	NHK	NIB	NBC	KTN	NCC	NHK	NIB	NBC	KTN	NCC
開式				○					○	
死没者名簿奉安			○						○字	
式辞 (長崎市議会議長)			○					○		
献水			○						○字	
献花			○					後半		前半
黙禱			○					○		
平和宣言 (長崎市長)				○手					○手	
平和への誓い (被爆者代表)				○手					○字	
児童合唱	字	字	○字		字	字	字	字	○字	字
来賓挨拶 (内閣総理大臣)			○					○		
来賓挨拶 (長崎県知事)	○							○		
千羽鶴合唱	○字					○字	字	字	字	
閉式										

表 4: 2008 年 10 月 7 日朝の放送状況

時刻	NHK	NBC	KTN	NCC	NIB
7:23					
7:24					
7:25					
7:26					
7:27					7:27:46
7:28		7:28:10	7:28:32	7:28:27	7:28:45
7:29					
7:30					
7:31					
7:32					

表 5: 2008 年 10 月 7 日夜の放送状況

時刻	NHK	NBC	KTN	NCC	NIB
18:16					
18:17					
18:18					
18:19					
18:20					18:20:05
18:21				18:21:25	18:21:35
18:22					
18:23					
18:24					
18:25					

表 6:2008 年 11 月 23 日 列福式の中継状況

	NHK	NBC	KTN	NIB	NCC
12:00			ネット配信 (関連会社)		
12:30					
13:00					
13:30					
14:00					
14:30					
15:00					
15:30					
16:00			Gopan (地域情報番組)		
16:30					
17:00					
17:30					
18:00					
18:30	県内 NEWS	県内 NEWS	県内 NEWS	県内 NEWS	県内 NEWS
19:00	全国 NEWS				
19:30					
20:00					
20:30	県内 NEWS		県内 NEWS		
21:00	全国 NEWS				
21:30					
22:00					
22:30					
23:00		全国 NEWS			
23:30		県内 NEWS			
0:00					
0:30			県内 NEWS		